

□日時 2026 (令和8) 年 7月 1日 (水) 7/1版
午後13時開場、13時30分から15時50分頃まで
※集会終了後で「熊本空襲慰霊碑」を慰問
□場所 熊本市中央公民館 6階 大会議室3 (定員76名)
熊本市中央区草葉町5-1

第18回 熊本空襲を語り継ぐ集い

I 講話「1945年3月18日“三菱熊本航空機製作所の空襲”は何だったのか、熊本に何をもたらしたのか!

代表幹事 高谷 和生

- (1) 米機動艦隊による熊本空襲
- (2) 3月18日と5月10日・13～15日の「健軍飛行場と三菱熊本航空機製作所の空襲」
- (3) 三菱熊本航空機製作所各工場の一次疎開学校工場等、二次疎開地下工場
- (4) 続く7月1日・8月10日の二回にわたる熊本大空襲でも、本格的な空襲対象とならず敗戦をむかえる!!
- (5) 敗戦からの「新たな健軍のまちづくり」



敗戦後の三菱重工業熊本航空機製作所工場群
スライド (コダクローム) 撮影

- (6) この戦争と熊本の空襲は、何をもたらしたのか? 何を今に伝えるのか?
 - ①飛行場施設の地下化、軍需施設の学校への疎開・分散、地下工場の造営
 - アジア太平洋戦争期での敗戦間際の1945年熊本の状況「本土決戦体制の確立」
 - 九州・沖縄の防衛力強化「南西シフト」は、九州地域の新たな本土決戦「決六号作戦」では!
 - 実効性ある国民保護策として、健軍駐屯地周辺の病院等への「シェルター整備・確保」優先

②西部方面総監部司令部の地下施設・強靱化・抗たん性は・

- 「旧海軍佐世保鎮守防空指揮所の作戦司令部・電信室等」から見る当時の防空状況
- 旧軍では「作戦司令部施設・電力施設」を最優先

③健軍弾薬庫 (現存9棟と土塁) の武力攻撃に対する「抗たん性・強靱化」

- 「豊橋海軍工廠弾薬庫・豊川海軍工廠平和公園」から見る被害軽減、周辺部への被害回避
- 旧軍では、弾薬庫・燃料庫防御は「隧道式」



□長崎県「旧佐世保鎮守府地下防空指揮所」

④沖繩・先島諸島からの九州各地への12万人の
「住民避難（旧疎開）」

- 熊本への沖縄児童「学童疎開」、対馬丸の悲劇、熊本地震での一次避難・二次避難、生活確保

⑤戦争・空襲・被爆の被害を、国民に強いる
「受忍論」の限界、誤謬

- 「原爆犠牲者への国家補償」「空襲被害者救済法」の成立！ 国民の民意を、どの様に示すのか！

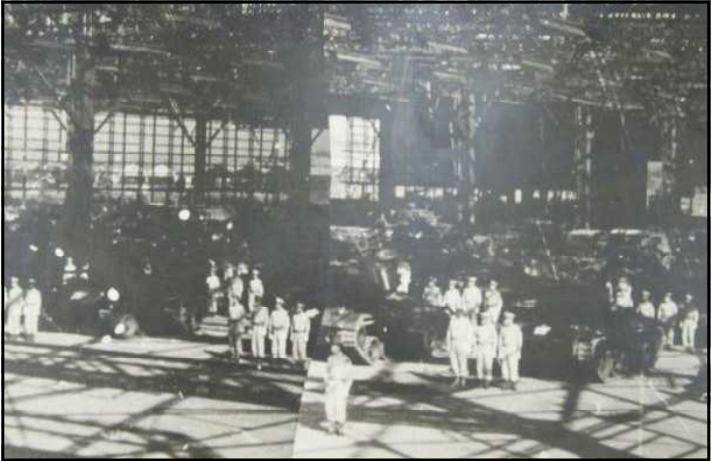
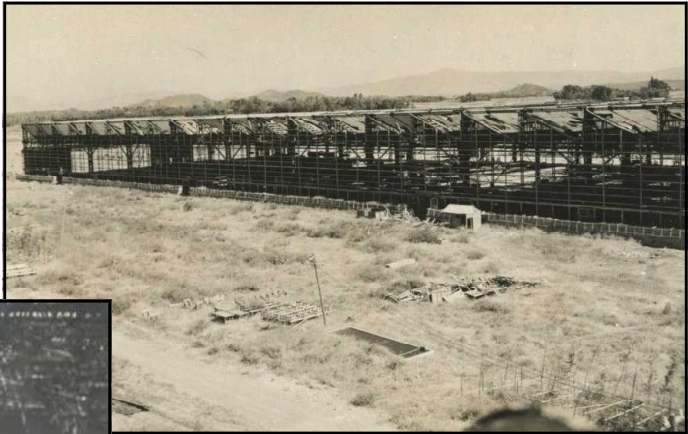
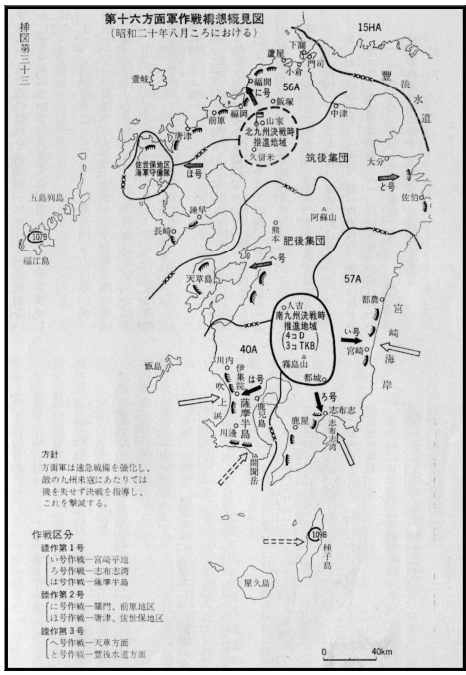
(7)「三菱重工業熊本航空機製作所第一組立工場」
を保存する意味は!!

- 旧三菱重工業熊本航空機製作所及び同第一組立工場等の**歴史的価値**
- 健軍地域のまちづくり**、熊本の航空機産業の**歴史**を検証し、記憶を残す**象徴的価値**
- ウクライナ戦争から見る各種ドローンや軍事AI等による「**新しい戦争**」の姿
- 武力だけに頼らない「**国防の意味**」を考える!

□「第十六方面軍作戦構想図」
昭和20年8月頃
『戦史叢書 本土決戦準備』より



豊川海軍工廠
平和公園
□愛知県「旧豊川海軍工廠・平和公園」、施設防御の全容



□令和8年6月14日「旧三菱重工業熊本航空機製作所第一組立工場等の市民見学会」の様子、当時工具の証言
□敗戦後で空襲被害を受けた「三菱重工業熊本航空機製作所第一組立工場」の様子 長崎平和推進協会提供
□昭和33年警察予備隊「健軍駐屯地旧第一組立工場内での開隊式様子」 健軍駐屯地提供

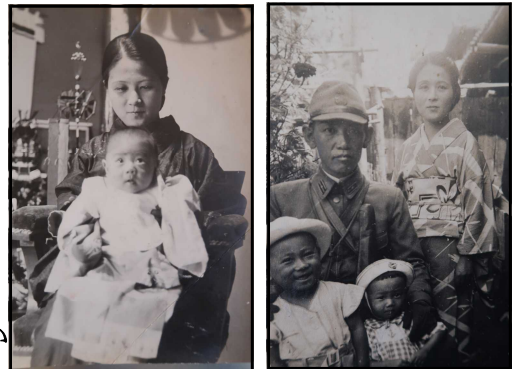
II 「寺本至孝さん」証言と紙芝居

昭和 20 年、当時本荘国民学校三年生 8 歳の「てらもとよしたか」少年は、7 月 1 日の夜、街を焼き尽くす大空襲を体験しました。爆撃機 B 29 の轟音、降り注ぐ大小焼夷弾の爆発音、家屋が燃えあがる炎のなか、防空壕から飛び出し、街中に母親や兄弟とともに乳母車を押して、火の粉を払い逃げまわりました。

敗戦後、ひもじいおもいを重ね、何もかも不足したなかで、学校教員となり、いまは「平和の尊さ」を継承する活動を行っています。この体験を綴った紙芝居を作り、多くの子ども達への「語り継ぐ活動」への思いを語っていただきます。

(1) 当時のご自宅は、ご家族・生活のご様子

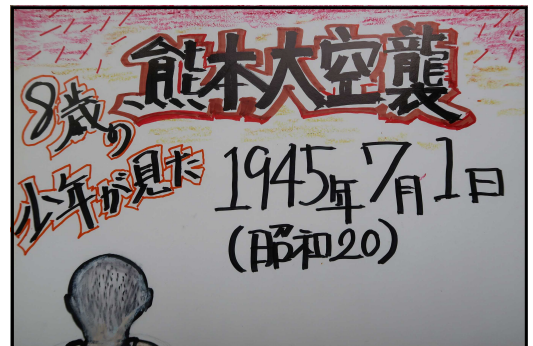
- 父親の出征と戦死
- 当時の「本荘国民学校」の様子、空襲への
- 対処は、どう変わっていったのか？



誕生 父親の出征

(2) 「8歳の少年が見た 7月1日 熊本大空襲」証言と紙芝居

- 空襲は何時頃で、その時はどの様に対処されましたか
- 最初に投下された「照明弾」の様子は…
- 爆弾・焼夷弾を見て、「小さな焼夷弾は消せた！」
「大きな爆弾もあった」
- 8月10日「第二回熊本大空襲」は、大津の疎開先で
- 広島・長崎の「新型爆弾」への防御措置
- 「紙の爆弾 伝単」は見ましたか？
- 敗戦「8月15日」の様子
- 「何故 あの日 私たちは逃げられなかったか」
- 日本の「重慶への無差別爆撃」と「皆殺しのルメイ」



(4) 戦後の本荘校や「不便だった新制中学校」

教員生活の思い出やエピソードを
ご紹介ください！

(5) 太平洋戦争開戦から81年目となります。

いま現在も、ウクライナ戦争、中東イランでは
戦闘が行われています。

当時の事と重ね、どの様に思われますか？
その思いをお話してください！



紙芝居「熊本大空襲」表紙
 紙芝居上演の寺本至孝さん

(6) 今回の「熊本空襲を語り継ぐ集い」で、参加 の皆さま方にお伝えしたいことは！

Ⅲ 報 告 「熊本空襲 記憶の継承プロジェクト Ⅲ」

代表幹事 高谷 和生

(1) 「熊本空襲記憶の継承プロジェクトの取り組み」と完成した「今年の5枚」紹介

本プロジェクトは、戦後79年から三年をかけて取り組んだ。

太平洋戦争期の記憶は、次第に消え去りつつあり、熊本空襲に関しても、関わる戦時体験者は減少し、一方ではその膨大な証言等は未整理のまま蓄積されており、これも記憶とともに忘れさらられようとしている。

本プロジェクトでは、これらの未整理の資料等を、再度構築しなおすとともに、体験者の新たな記憶を呼びさまし、次代に継承する事業として「**空襲写真のカラー化事業 記憶の解凍!**」他**三事業に取り組む**んだものである。

写真カラー化の先行事例として、新潟県長岡市（長岡市空襲資料館）では、東京大学渡邊教授及び新潟日报社と共同で、戦前から戦後復興期までの白黒写真をAI画像認識と空襲体験者等からの聞き取りによりカラー化する「空襲から復興」事業を展開している。

本事業では関係諸機関等と連携して、**戦後80年を節目の時期**ととらえ「**熊本空襲の記憶を次代に継承**」していきたい。なお、ここで使用する「記憶の解凍」という言葉は、東京大学渡邊英徳教授による提言である。

□一項目 空襲写真のカラー化事業「記憶の解凍！」

作業対象は、くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク様の承諾のうえ、所蔵される米軍撮影「熊本空襲白黒写真20枚」を予定した。**第一期で「4枚」、第二期で「5枚」が完了**し公開を始めた。同会刊行の平和継承リーフレット『空襲下の熊本』及び『M76焼夷弾と熊本空襲』を参照のこと。

特に新たな視点として、より客観資料とするために、完成した**写真内に三箇所**の「**カラーコード図記載：熊本平和憲法を活かす会方式**」を示し、今後の将来での検証に耐えうる資料とした。

但し、証言聞き取りでは「**空襲での色記憶は、“あいまいな場面”もあり**」、更なる手だてが必要だと感じている。

□二項目 空襲資料の新収集事業「現物が語る記憶！」

7月1日「第一回熊本大空襲」での「焼夷弾（現在確認出来ていないE46集束焼夷弾の部品、照明弾、更なるM69小型焼夷弾）に関する現物等の収集作業では、新たな発見は無かった。

1945年7月～8月に熊本、宇土・松橋、菊池、玉名地方等へ投下された紙の爆弾「伝単」に関する**新たな証言「天草鬼池地方」で収集**できた。新たな伝単現物の発見、投下時に伝単を容器していた通称「伝単爆弾（器）」の証言は無かった。

また、熊本県内ではあまり知られていない1938年5月20日人吉・球磨・芦北地域への中国軍機による「伝単」投下に関しては、新たな現物が「**故北御門二郎氏遺品**」から**発見**できた。今後も会での各種活動、展示会等を通し、県民への働きかけを進める。

□三項目 熊本県内での日本側全空襲のデータベース化事業「記憶の記録・集約！」

これまで本会で発行した刊行物『戦後75年熊本空襲を語り継ぐ』、熊日『伝えたい私の戦争』、刊行されている市町村誌から空襲証言等を抜粋してデータベース化を模索した。ただし、マンパワーが不足して集約できなかった。

また、併せて予定していた「熊本空襲戦没者データベース化」も果たせなかった。

□四項目 熊本県内各地への米軍側空襲記録のデータベース化「新資料の調査・集約！」

九州内の空襲調査に取り組まれている「空襲・戦跡九州ネットワーク」での米軍資料集約作業を検証して、「静岡平和資料センター」様式を参照し、データベース化に取り組んだ。ただし、日本側と米軍側証言の一致化については、具体的検討は一部箇所にとどまった。

(2) 取組のまとめ

□**カラー化作業は、一端完了**とする。他団体等からの共同作業等の要請等には応じる。

□熊本空襲に関わる**新たな資料発見、証言聞き取りは、継続**する。

□米軍記録・資料の継続調査、証言と一体化した**基礎資料づくりは継続**する。新たな手だてを検討する。

□**継承として『新・熊本空襲物語』**を検討したい。

(3) 今後の活用等

□報道関係各社へは、「熊本空襲実相を知る資料」として、紹介、公開を進める。

□職域団体・出版業へは、貸出規定に則り、提供する。



E：旧熊本市立商工学校への空襲 旧商工学校は地域商人の子弟教育を担う学校として開設されたが、敗戦時は工業実務を充実させた教育過程を実践していた。学校内には旋盤等が多数設置されていた。8月10日空襲時は、生徒登校はなく、建物疎開等を行っていたとされる。空襲翌日は、生徒自ら片付け作業をしたという。画面奥は一新国民学校と鹿児島本線で、当時の空襲体験の証言が残されている。当地はいま西山中学校。



F：本山町の岡村鉄工所とM76焼夷弾 現在は熊本都市バス本山営業所にあった軍需工場への大型落下傘付き焼夷弾投下の様子である。証言は確認できていない。

G：北岡神社と旧国鉄

旧国鉄鹿児島線の奥に北岡神社施設が見える。白川腰の本状地域で、焼夷弾等が投弾され爆発様子が見える。証言は残されていない。



H：旧国鉄・熊本駅と春日国民学校 熊本駅構内にはゼブラ模様の対空迷彩を施した車両用が留まっている。南熊本方面から攻撃し、当地を抜けて花岡山を越え機体は退避する。

I：萩原町の西部瓦斯製造所

三菱熊本航空機製作所へガス供給の為に、接された西部瓦斯工場であるが、敗戦時には未完成であった。南熊本駅からの引込線が見える。



カラーコード
 HEX (16進数) : #9A7AA8
 RGB (10進数) :
 Red: 154, Green: 122 Blue: 168
 落ち着いたくすみのある藤色



カラーコード
 HEX (16進数) : #5F6199
 RGB (10進数) :
 Red: 95, Green: 97, Blue: 153
 落ち着いた紫系の色



カラーコード
 HEX (16進数) : #615D70
 RGB (10進数) :
 Red: 97, Green: 93, Blue: 112
 少し落ち着いたくすんだ紫がかった灰色



カラーコード
 HEX (16進数) : #DEB590
 RGB (10進数) :
 Red: 222, Green: 181, Blue: 144
 ベージュや明るいブラウン系の落ち着いた色
 (WebBurlyWood)



カラーコード
 HEX (16進数) : #615A59
 RGB (10進数) :
 Red: 97, Green: 90, Blue: 89
 濃い灰褐色 (グレイッシュなブラウン)



カラーコード
 HEX (16進数) : #7C7977
 RGB (10進数) :
 Red: 124, Green: 121, Blue: 119
 わずかにオレンジがかったブラウン〜グレー系の落ち着いた色合い

完成したAIカラー化写真へのカラーコード図記載：熊本平和憲法を活かす会方式

米陸軍戦略航空軍・B29による熊本県内の空襲

20250401 高谷作成版

年月日	時刻	目標(現・市町名)	組織	機数	高度(??)	爆弾の種類と量(米トン)	備考(米軍資料)	備考(日本側資料)
5月10日	06:52	熊本市街地	第313航空団	2	18500	M66GP14 ^ト	第21爆撃機集団の作戦任務No.159	
	午前中	大浜飛行場		2		GP		玉名市史
7月1日	1日23:50-2日01:30	熊本市街地	第73航空団	154	10050-11500	M47A3IB370 ^ト 、E46IC689 ^ト E36IC7 ^ト 、E48IC48 ^ト	第21爆撃機集団の作戦任務No.241 第4回中小都市空襲	熊本市史
	2日02:52		第314航空団	1	14900	M47A2IB1 ^ト 、E46IC6 ^ト		

米陸軍航空隊 第5航空団(沖縄移駐)による熊本県内の空襲

20250401 高谷作成版

月 日	目標	群団名	機種	機数	高度 ??	通常爆弾		焼夷弾		破碎爆弾		爆弾合計	米軍資料	日本側の資料
						種類	ト	種類	ト	種類	ト			
7月31日	水俣	345群団	B25	24	100	M64	24					24		水俣市史
8月5日	熊本(各種)	418戦隊	P61	1	5000	M65	1					1		
8月6日	熊本(各種)	418戦隊	P61	1		M65	1					1		
	熊本(鉄道)	43群団	B24	2	6500	M64	4					4		
8月7日	芦北の鉄道橋	348群団	P51	17	3000	M64	4					4		芦北町史
	川尻の橋梁	345群団	B25	19	100	M65	16					16		
	松橋の橋梁	345群団	B25	2	100	M65	2					2		松橋町史・不知火町史
	松橋の道路橋	345群団	B25	7	100	M65	7					7		松橋町史・不知火町史
8月8日	熊本(各種)	418戦隊	P61	3	9000	M65	3					3		
	熊本市街地	421戦隊	P61	6	7500	M65	6					6		
8月9日	熊本飛行場	58群団	P47	27	3000-5000	M65	14					14		
	熊本(各種)	418戦隊	P61	3	2000	M65	3					3		
8月10日	熊本市街地	3群団	A20	9	100			M76	9			9		熊本市史
		8群団	P38	31	200-300			165 ^{SP} NP	16			16		
	熊本(各種)	3群団	A20	0	100			M47A2	5			5		
			A20	0	100			165 ^{SP} NP	8			8		
			A20	0	100			M76	17			17		
			A20	9	100			M76	9			9		
			A26	7	100			M47A2	5			5		
			A26	0	100			165 ^{SP} NP	3			3		
			418戦隊	P61	2	6000	M65	2				2		
			43群団	B24	2	12500			50 ^{SP} NP	4			4	
8群団	P38	14	1000			165 ^{SP} NP	7			7				
8月11日	佐敷の鉄道橋	8群団	P38	43	1000	M65	21	165 ^{SP} NP	2		23			
8月12日	川尻?の鉄道橋	58群団	P47	7	100	M65	2					2		
	熊本飛行場	421戦隊	P61	4	10000	M64	2					2		

米陸軍航空隊 第7航空団(沖縄移駐)による熊本県内の空襲

20250308 高谷作成版

月 日	目標	群団名	機種	機数	高度 ??	通常爆弾		焼夷弾		破碎爆弾		爆弾合計	米軍資料	日本側の資料
						種類	ト	種類	ト	種類	ト			
7月30日	熊本飛行場	494群団	B24	2	11500					M81	5	M81_5 ^ト		記載なし
7月31日	熊本飛行場	11群団	B24	2	8000-10000					M81	6	M81_6 ^ト		記載なし
8月1日	熊本市街地	11群団	B24	1	13700					M81	3	M81_3 ^ト		記載なし
	八代の狭量	318群団	P47	18	2000	M65	18					M65_18 ^ト		記載なし
8月7日	水俣	318群団	P47	17	4500	M65	17					M65_17 ^ト		記載なし
	水俣の化学工場	318群団	P47	33	3000-6000	M65	33					M65_33 ^ト		水俣市史
8月10日	熊本(未確認目標)	413群団	P47	23	200					165 ^{SP} NP	16	165 ^{SP} NP_16 ^ト		熊本市史
		B25	12	300			M47A2	5			M47A2_5 ^ト			
		11群団	B24	5	11000			M19	12			M19_12 ^ト		
		507群団	P47	45	100			165 ^{SP} NP	57			165 ^{SP} NP_57 ^ト		
		413群団	P47	20	300			165 ^{SP} NP	15			165 ^{SP} NP_15 ^ト		
	熊本市街地	318群団	P47	17	100			165 ^{SP} NP	37			165 ^{SP} NP_37 ^ト		
		11群団	B24	21	10500-11500			M19	50			M19_50 ^ト		
		41群団	B25	11	300			M47A2	5			M47A2_5 ^ト		
		420戦隊	B24	11	11500			M19	26			M19_26 ^ト		
		319群団	A26	8	100					7	8	120 ^{SP} Fr_8 ^ト		
		494群団	B24	6	11000			M19	14			M19_14 ^ト		
		413群団	P47		200			165 ^{SP} NP	16			165 ^{SP} NP_16 ^ト		
	熊本の工場地域	41群団	B25	24	200-300			M47A2	10			M47A2_10 ^ト		
		319群団	A26	15	100			M47A2	9			M47A2_9 ^ト		
	熊本駅	315群団	P47	12	100			165 ^{SP} NP	12			165 ^{SP} NP_12 ^ト		